

定期作況報告

(第5号 平成19年9月20日現在)
北海道立上川農業試験場

1. 気象概況

8月下旬：最高気温は平年より1.6 高く、最低気温は平年より1.3 低かった。降水量は平年より57.9mm 少なく、平年対比 3%であった。降水日数は平年より4日少なかった。日照時間は平年より22.5時間多く、平年対比 147%であった。夏日(最高気温25 以上)は延べ8日、真夏日(最高気温30 以上)はなかった。

9月上旬：最高気温は平年より1.0 低く、最低気温は平年より1.4 高かった。降水量は平年より25.9mm 多く、平年対比 150%であった。降水日数は平年より4日多かった。日照時間は平年より17.4時間少なく、平年対比 66%であった。夏日は延べ4日であった。

9月中旬：最高気温は平年より1.4 高く、最低気温も平年より4.0 高かった。降水量は平年より9.4mm 多く、平年対比 118%であった。降水日数は平年より2日少なかった。日照時間は平年より14.5時間少なく、平年対比 68%であった。夏日は1日であった。

8月下旬から9月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	26.4	24.8	1.6	22.7	23.7	1.0	22.3	20.9	1.4	23.8	23.1	0.7
最低気温()	13.9	15.2	1.3	14.6	13.2	1.4	14.5	10.5	4.0	14.3	13.0	1.3
平均気温()	20.2	19.6	0.6	18.2	18.1	0.1	17.9	15.5	2.4	18.8	17.7	1.1
降水量(mm)	2.0	59.9	57.9	78.0	52.1	25.9	61.5	52.1	9.4	141.5	164.1	22.6
降水日数(日)	1	5	4	8	4	4	3	5	2	12	14	2
日照時間(h)	70.5	48.0	22.5	34.0	51.4	17.4	31.0	45.5	14.5	135.5	144.9	9.4

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。

3) 印は平年に比べて減を示す。

2. 作 況

1) 水 稲 : やや良

事 由： 成熟期は「ほしのゆめ」が平年並であったが、「きらら 397」は平年よりやや遅く、特に中苗では 5 日遅かった。登熟日数は「ほしのゆめ」が平年並、「きらら 397」が平年よりやや多かった。

m²当たり穂数は多く、平年対比で113～124%であった。一穂粒数は 40 粒を下回り、平年より 1 割程度少なかった。その結果、m²当たり粒数（m²当たり穂数×一穂粒数）は平年よりやや多く、平年対比で 105～108%であった。

稔実歩合は平年よりわずかに低いものの平年並であった。m²当たり稔実粒数（m²当たり粒数×稔実歩合）は平年対比で 105%程度であった。登熟の進度は前半はやや遅れ気味であったが、その後の天候が良好であったため後半はほぼ平年並に推移した。

以上、稔実粒数がやや多く、倒伏もなく登熟が順調に進んでいることから平年より収量増となることが予想される。目下の作況は「やや良」である。

表 2 生育期節

品 種 苗	成熟期（月・日）			登熟日数（日）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら 397 中苗	9.19	9.14	5	54	49	5
ほしのゆめ 中苗	9.10	9.10	0	46	45	1
きらら 397 成苗	9.13	9.11	2	51	48	3

注1) 平年値は平成12～18年7力年のうち平成13年（最豊年）、平成15年（最凶年）を除いた5力年の平均を用いた。

2) 印は平年に比べて「少」を示す。

表 3 収量構成要素および稔実歩合

品 種 苗	m ² 当り穂数（本）				一穂粒数（粒）				m ² 当り粒数（×1000粒）			
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)
きらら 397 中苗	850	687	163	124	39.3	45.0	5.7	87	33.4	31.0	2.4	108
ほしのゆめ 中苗	841	741	100	113	38.5	41.7	3.2	92	32.4	30.9	1.5	105
きらら 397 成苗	838	698	140	120	39.5	44.4	4.9	89	33.1	31.0	2.1	107
品 種 苗	稔実歩合（%）				m ² 当稔実粒数（×1000粒）							
	本年	平年	差	比(%)	本年	平年	差	比(%)				
きらら 397 中苗	91.6	93.0	1.4	98	30.6	28.8	1.8	106				
ほしのゆめ 中苗	91.6	92.0	0.4	100	29.7	28.4	1.3	105				
きらら 397 成苗	90.0	91.6	1.6	98	29.8	28.4	1.4	105				

注1) 平年値は平成12～18年7力年のうち平成13年（最豊年）、平成15年（最凶年）を除いた5力年の平均を用いた。

2) 印は平年に比べて「減」を示す。

表4 出穂後経時登熟歩合 .

品 種 苗	出穂後 20 日目			出穂後 30 日目			出穂後 40 日目		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら 397 中苗	3.7	18.0	14.3	56.4	55.0	1.4	74.1	(73.5)	-
ほしのゆめ 中苗	9.3	25.9	16.6	57.3	61.5	4.2	77.4	(79.8)	-
きらら 397 成苗	4.1	16.4	12.3	56.5	54.7	1.8	81.8	(71.6)	-

注1) 平年値は平成12～18年7カ年のうち平成13年（最豊年）、平成15年（最凶年）を除いた5カ年の平均を用いた。

2) 出穂後40日目の平年値は平成16年のデータが欠測のため4カ年のみのデータから平均を算出しており参考扱いとする。

3) 登熟歩合は比重1.06の塩水選で求めた。

4) 印は平年に比べて「減」を示す。

2) 秋まき小麦：9月上旬に雨天が続いたため、平年より5日遅い9月12日に播種を行った。

3) 大豆：やや不良

事由：気温がやや高く経過したため登熟が順調に進み、成熟期は「トヨコマチ」で平年より9日早く、「トヨムスメ」も平年より早いと予想される。主茎長、主茎節数は平年をやや下回り、分枝数は平年並かやや多く、着莢数は平年を下回っている。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表5 9月20日の大豆の生育

品 種 名	成 熟 期 (月日)		
	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	-	9.30	-
トヨコマチ	9.14	9.23	9
ユキホマレ	9.18	9.21	3

品 種 名	主 茎 長 (cm)			主 茎 節 数 (節)			分 枝 数 (本/株)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	49.5	61.7	12.2	9.3	10.3	1.0	8.2	6.8	1.4
トヨコマチ	55.7	63.6	7.9	10.2	10.9	0.7	6.6	6.9	0.3
ユキホマレ	55.8	61.6	5.8	9.8	10.6	0.8	6.3	5.8	0.5

品 種 名	着 莢 数 (個/株)		
	本 年	平 年	比 較
トヨムスメ	67	77	10
トヨコマチ	62	76	14
ユキホマレ	72	80	8

注1) 平年値は前7か年中、平成14年、18年を除く5か年の平均値。ただし、「ユキホマレ」については平成13年から18年の6か年の平均値で、参考値である。

2) は平年より早を、 は平年より減を示す。

4) 小豆 : 不良

事由：成熟期は平年より「サホロショウズ」で 10 日、「エリモショウズ」で 6 日早かった。成熟期における主茎長と分枝数は両品種とも平年を下回り、着莢数も「サホロショウズ」が平年比 59 %、「エリモショウズ」が平年比 79 % と少ない。

したがって、目下の作況は不良である。

表 6 成熟期の小豆の生育

品 種 名	成 熟 期 (月日)			主 茎 長 (cm)			分 枝 数 (本/株)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	8.21	8.31	10	26	67	41	3.8	5.4	1.6
エリモショウズ	8.30	9.5	6	41	65	24	4.1	5.0	0.9

品 種 名	着 莢 数 (個/株)		
	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	36	61	25
エリモショウズ	46	58	12

注 1) 平年値は、前 8 か年中、平成 15 年 (最豊)、16 年 (最凶)、12 年 (茎疫病発生) を除く 5 か年の平均値。

2) は平年より早、 は平年より減を示す。

5) ばれいしょ : 平年並

事由: 平年の枯凋期は8月31日であるが、本年はまだ枯凋期に至っていない。株当たり上いも数が平年より3個少ない一方、降水量が十分でやや高温に経過したため塊茎の肥大は進み、上いも平均一個重は平年より38g重い。上いも収量は平年を大きく上回っているが、生食用としての規格外が25%程度を占めている。でん粉価は平年より0.5%高い。

したがって、目下の作況は平年並である。

表7 9月20日のばれいしょの生育

品種名	枯凋期(月日)		
	本年	平年	比較
男爵いも	-	8.31	-

品種名	上いも数(個/株)			上いも平均一個重(g)			上いも収量(kg/10a)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵いも	9.9	13.0	3.1	129	91	38	5688	5147	541

品種名	でんぷん価(%)		
	本年	平年	比較
男爵いも	14.5	14.0	0.5

注1) 平年値は、枯凋期の値であり、前7か年中平成14、16年を除く5か年の平均値。